

西脇ジュニア陸上クラブ

スポーツによる
まちづくり

西脇ジュニア陸上クラブ活動



活動目的

陸上競技の指導練習や記録会を通して子どもたちの自己実現につなげ、学校、学年、障がいの有無などを越えた交流、仲間づくりを行うことで青少年の健全育成につなげる。

また、子どもたちが陸上競技に触れるきっかけを作り、未来の活躍に向けて人材育成を行うとともに、地域のスポーツ文化を活性化し、スポーツによるまちづくりの一つとして「ジュニア陸上クラブ」を定着させ、ひいては地域の活性化につなげる。

活動内容

原則として毎月2回の土曜日の午前中に、都麻の郷交流グラウンドにおいて、陸上競技の指導者を招き、陸上競技の正しい知識、基本技術、スポーツのマナーなどを習得する。

また、子どもたちが練習の成果を披露するとともに自分の記録更新に挑戦し、自己実現につなげる場とするため、保護者や地域の方などを招き、記録会を開催する。

また、今年度は、山陽特殊製鋼陸上部が、スポーツ振興を目的とした社会貢献活動の一環として実施されている「1日陸上教室」を予定している。

今後の展望

スポーツは、青少年の心身両面の健全な発達に資すると言われていますが、SNSの普及や少子化などの影響もあり、現実として子どもの外遊びやスポーツ活動の時間が減少傾向にあると考えられます。そのため本事業を継続して実施することにより子どもたちがスポーツに触れる機会を増やし、将来にわたってスポーツを楽しみ、またその意義を感じ取ることを通じて心身の健全な成長につなげたいと考えています。

また、子どもたちが学校や地域を超えて、仲間づくりや交流の中で、保護者を含めた新たな地域コミュニティが生まれることが期待できると考えています。

本来の陸上クラブは専門性を高めるため、参加人数の制限や経験者が集まりやすい傾向がありますが、本クラブの目的である「陸上初心者を集めることで裾野を広げる」ことで、昨年は、市内6小学校、50名と幅広く子どもを集めることができ、学校を超えた友人関係が芽生えました。最近では、丹波市からの参加する子どもたちもあり、新たな交流も芽生えています。

また仲間づくりが進行する中で、学校の範囲を超えて、こどもたちの希望によりリレーカーニバルなどの大会に出場することになり、学校混成でチーム編成を行い、本来の練習日以外にも練習を自ら希望するなど、上級生としての自立心が養われました。また、チームとして大会に参加することで、地域を超えた保護者間の交流がより深くなっていると感じています。

みなさんへひとこと

私たちは、陸上競技というスポーツを通じて、子どもたちがスポーツの楽しみを覚え、地域の交流が人がることを期待しています。そのため「はったり、とんだり」することに興味のある子どもたちを幅広く募集しています。

また、陸上競技の経験者はもちろんボランティア活動として、こういった活動に興味を持たれる人をお待ちしています。

Check!